

# 那珂川NEWS 8

## 育てませんか あなたと私のWoodコミュニケーション

### 2050年カーボンニュートラル実現へ

今年5月に地球温暖化対策推進法の改正案が成立しました。地球温暖化対策推進法とは、私たち国民や、自治体、企業、そして国全体が取り組むべき気候変動対策を定めた法律のことです。特徴としては、①パリ協定・2050年までのカーボンニュートラル(下記)の実現が法律に明記②地方自治体の脱炭素を促進 ③企業の脱炭素経営のためのデジタル化・オープンデータ化の推進 となっております。また、2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、『2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略(下記)』を策定しています。

このことによる私たち業界への影響として考えられることは、住宅・建築物における高断熱化・長寿命化・3R(下記)とか創電化が今後益々進むと思われれます。特に今年施行された次世代断熱等級4及び一次消費エネルギー等級4の説明義務が数年内には施工義務に変わっていくと思われれます。また、創エネ分野でも太陽光発電・エネファーム等の設置義務がさらに進む可能性が考えられれます。

#### ■カーボンニュートラルとは？

商品やサービスのライフサイクル全体で見た際に、炭素の排出量と、吸収量が一致することを意味する単語です。

#### ■グリーン成長戦略とは？

グリーン成長戦略は進行する気候変動や温暖化に対応することが企業にとってリスクではなく、『成長の機会』であることを広めて企業を支える政策で14の重要分野ごとに予算、税、規制改革・標準化、国際連携など、幅広い政策を取り入れた実行計画を策定します

- ① 洋上風力②燃料アンモニア③水素、④原子力を輸送・製造関連産業として⑤自動車・蓄電池 ⑥半導体・情報通信 ⑦船舶⑧物流・人流・土木インフラ⑨食料・農林水産業、⑩航空機⑪カーボンリサイクルを家庭・オフィス関連産業として⑫住宅・建築物/次世代型太陽光⑬資源循環⑭ライフスタイル

#### ■3Rとは？

- ①Reduce(リデュース) 物を大切に使いごみを減らすこと
- ②Reuse(リユース) 使える物は繰り返し使うこと
- ③Recycle(リサイクル) ごみを資源として再び利用すること

#### ■わたしたちの使命 (SDGs) (茨城木材の社会的役割)

「消費と生産を結び価値ある架け橋」となる  
— 循環型地域環境の創造 —

1. 地域の人々により良い『住環境』を提供すること
2. 茨城県の森林環境を守ること



### 新「国産材時代」を生きる

### 川上から川下まで潤う体制を目指す

過熱気味だった国産材市況もここにきて潮目が変わってきています。しかしながら、今暫く強含みの市況展開が続くと思われれます。このような状況下、私たちに求められているのは、この「ウッドショック」をチャンスと捉え、目の前の市況に一喜一憂することなく、業界の皆様が連携し、「安定した供給体制の構築(供給責任)」と「適正な価格体系(山に利益が残せる価格水準)づくり」ではないでしょうか？

当社としても、「茨城県の森林環境を守る」という使命感をもってこの地域の「木材流通の要」となれるよう取り組んでいく所存でございますので変わらぬご支援の程宜しくお願い致します。

**8月11日(水) 13時セリ開始**

**「納涼市」**

**9月14日(火) 13時セリ開始**

**いばらき八溝材展示会**

協賛：いばらき八溝材開発推進委員会  
茨城県産材推進協議会

**優良な木材を多数ご用意いたします！  
ご来市を心よりお待ち申し上げます！**



### “今”を生きる経営者からのメッセージ

### 「トップインタビュー」第3弾！

現在、私たちの業界において多くの経営者の皆様方が昨年から続くコロナ問題や輸入材の高騰を引き金とするいわゆる「ウッドショック」といった自助努力だけではコントロールしにくい先行きの見えない不安と闘いながら企業経営に真摯に取り組まれておられることに敬意を表したいと思ひます。

そこで弊誌では、そんな経営者の方々から貴重なメッセージを頂戴し、業界の皆様方の今後の経営に少しでもお役に立てればとの思いからこの企画をさせて頂いております。今回(第3回目)は、株式会社 キョーリン(ひたちなか市)代表取締役社長 鈴木勇輝氏へのインタビュー記事(第2面掲載)となっております。

### [市日予定]

＜ 本 社 ＞	＜ つくば ＞
8月11日 (水) 記念市	8月5日 (木) 記念市 19日 (木) 通常市(中止) 26日 (木) 記念市
<b>8/11(水) 納涼市</b>	